

令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	207	沖縄フラワークリエイション事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-イ		
担当部課名	土木建築部 道路管理課	事業実施(予定)年度	H 24 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	花と緑あふれる県土の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光地への主要アクセス道路等について、花と緑のある良好な空間を創出し、道路景観の向上を図るため、花木(プランター)の設置や、植樹への植栽を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】			H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	520,000		368,212		374,206
		(b) 予算現額	520,000		368,212		374,206
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	520,000	0	368,212	0	374,206
	B. 執行済額		519,995		368,203		374,195
	うち交付金充当額		415,996		294,562		299,356
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	100.0%	#DIV/0!	100.0%
予算の状況の説明		・執行率は100.0%であり、計画的に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
				H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	花の飾花・環境整備(県道39号線、41路線)	目標	41路線	41路線	41路線	41路線	
		実績	41路線	41路線	41路線	41路線	
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
達成状況説明	・令和元年度は、目標の41路線に対してコンテナの飾花等の植栽管理業務を委託する形で事業を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値	H29年度	H30年度	R1年度	目標値
	観光地への主要道路としてふさわしい道路景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する	目標	-	-	80%	80%	-
		実績	-	-	92%	84.6%	-
	【H29以前の成果目標】 沖縄らしい道路緑化に対する観光客の満足度90%	目標	-	90%			-
		実績	-	97%			-
	進捗状況説明	・観光地へのアクセス道路41路線において、年間を通してコンテナ飾花や草花の植付等による道路緑化を行い、観光客の満足度84.6%と目標を達成することができた。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
<p>・定期的なパトロール等を実施し、草花等の育成管理を年間通じて実施した。また、季節や植栽箇所の状況等に応じ、草花や花木を選定し、植物が良好な状態を保てるよう灌水などの対応を取った。また、造園業者と意見交換会を実施し、品質の向上に努めた。</p> <p>・道路ボランティアの支援と普及に努め、前年度の399団体から、440団体まで増加させることができた。また、民間を活用した他府県の先進事例を調査した。</p> <p>・今後も沖縄観光のイメージアップのため、観光地までの主要アクセス道路について、年間を通して花と緑のある良好な道路空間を創出し、道路景観の向上と維持させる取り組みが求められている。</p>	<p>・年間を通して花や道路植栽を良好に保つためには、気候や周辺環境に応じた花木や草花を選定し、適切な育成点検や灌水を行うことが必要である。</p> <p>・メリハリある植栽・維持管理を行い、かつ効果が持続的で、良好な沿道景観の維持・向上に努める必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・定期的なパトロール等により生育・開花の状況を継続的に確認し、植栽箇所の環境条件に応じた適切な花木や草花を各季節で開花できるように選定や管理方法、育成点検、灌水手法について検証し、各土木事務所や造園業者と連携して改善策を検討しながら、品質確保と向上を図る。

・道路ボランティア団体への支援・普及啓発により、住民と行政の協働による「美しい道路環境づくり」を推進する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
374,195	374,195	299,356	74,839	0	0	0

沖縄県
交付対象事業費
374,195千円

委託料
374,195千円

	支出先	契約業務名及び業務概要	支出額 (千円) ※事業費ベース		入札者数	落札率
			うち交付金充当額	うち交付金充当額		
1	(有)東政建設	契約業務名 北部管内フラワークリエイション業務委託(H31-1) 業務概要 植栽管理業務	22,840	18,272	15社 (指名競争)	99.6%
2	(株)仲嶺造園土木	契約業務名 北部管内フラワークリエイション業務委託(H31-1) 業務概要 植栽管理業務	19,135	15,308	15社 (指名競争)	99.5%
3	(有)大和緑建	契約業務名 北部管内フラワークリエイション業務委託(H31-1) 業務概要 植栽管理業務	19,742	15,793	15社 (指名競争)	98.7%
4	社会福祉法人 豊饒会	契約業務名 北部管内フラワークリエイション業務委託(H31-1) 業務概要 植栽管理業務	6,747	5,398	1社 随意契約	99.9%
5	(有)緑建	契約業務名 中部管内道路修景業務委託(H31-1) 業務概要 植栽管理業務	40,359	32,287	15社 (指名競争)	89.0%
6	金城グリーン(株)	契約業務名 中部管内道路修景業務委託(H31-2) 業務概要 植栽管理業務	32,013	25,611	15社 (指名競争)	88.4%
7	(株)沖縄丸和	契約業務名 中部管内道路修景業務委託(H31-3) 業務概要 植栽管理業務	35,369	28,296	15社 (指名競争)	89.1%
8	(株)諸見里造園土木	契約業務名 南部管内フラワークリエイション業務委託(H31-1) 業務概要 植栽管理業務	25,237	20,190	15社 (指名競争)	93.0%
9	(有)宮城錦水園	契約業務名 南部管内フラワークリエイション業務委託(H31-1) 業務概要 植栽管理業務	23,653	18,923	15社 (指名競争)	93.3%
10	(株)桃原農園	契約業務名 南部管内フラワークリエイション業務委託(H31-1) 業務概要 植栽管理業務	25,362	20,289	15社 (指名競争)	89.2%
11	一般財団法人 沖縄県セブセンター	契約業務名 南部管内フラワークリエイション業務委託(H31-1) 業務概要 植栽管理業務	11,897	9,517	1社 随意契約	100.0%
12	(有)グリーンアルファ	契約業務名 南部管内フラワークリエイション業務委託(R1-5) 業務概要 植栽管理業務	15,849	12,679	14社 (指名競争)	89.8%
13	社会福祉法人 みやこ福祉会	契約業務名 宮古管内道路修景業務委託(R1) 業務概要 植栽管理業務	3,102	2,482	1社 随意契約	96.8%
14	(株)ダイユウ建設	契約業務名 宮古管内道路修景業務委託(R1-2) 業務概要 植栽管理業務	16,775	13,420	14社 (指名競争)	89.7%
15	(有)大地造園	契約業務名 宮古管内道路修景業務委託(R1-3) 業務概要 植栽管理業務	10,118	8,094	13社 (指名競争)	88.4%
16	(有)平和建設	契約業務名 石垣島管内道路修景業務委託(R1-1) 業務概要 植栽管理業務	15,138	12,111	15社 (指名競争)	88.6%
17	(有)やまかわ	契約業務名 石垣島管内道路修景業務委託(R1-2) 業務概要 植栽管理業務	20,205	16,164	15社 (指名競争)	89.5%
18	(有)新垣造園土木	契約業務名 石垣島管内道路修景業務委託(R1-3) 業務概要 植栽管理業務	15,498	12,398	15社 (指名競争)	87.9%
19	協和緑建	契約業務名 石垣島管内道路修景業務委託(R1-4) 業務概要 植栽管理業務	15,157	12,126	15社 (指名競争)	87.9%

資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により実績を動案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 なお、随意契約による業務は、シルバー人材等の活用によるもので、軽易な業務となっている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	